

治療効果を加速する スキンケア戦略

EBD と **ビタミンA** 含有製品の併用による皮膚治療の可能性

Energy-Based Device

2025.
8/17 (日)
11:30-12:30

G
会場

リーガロイヤルホテル 2F 山楽の間

座長



川島 眞 先生

東京女子医科大学名誉教授

演者



柳下 悠 先生 赤坂ステラクリニック院長

本検討では、ビタミンA含有製品を用いた家庭でのスキンケアを基盤とし、Energy-Based Device (以下、EBD) と、イオントフォーシスおよびソノフォーシスによる導入施術を組み合わせた複合的治療の有用性を検討した。演者は、EBDにより治療効果を高める一方で、日々のスキンケアがその効果を支える重要な要素であると考えている。

症状に応じたEBD(トーニング、IPL、HIFU)を実施し、同日および2週間後に導入施術を組み合わせた1クールを3回行った。その期間中は、主にビタミンA含有製品を日常的に使用し、治療効果および皮膚状態の改善程度を評価した。